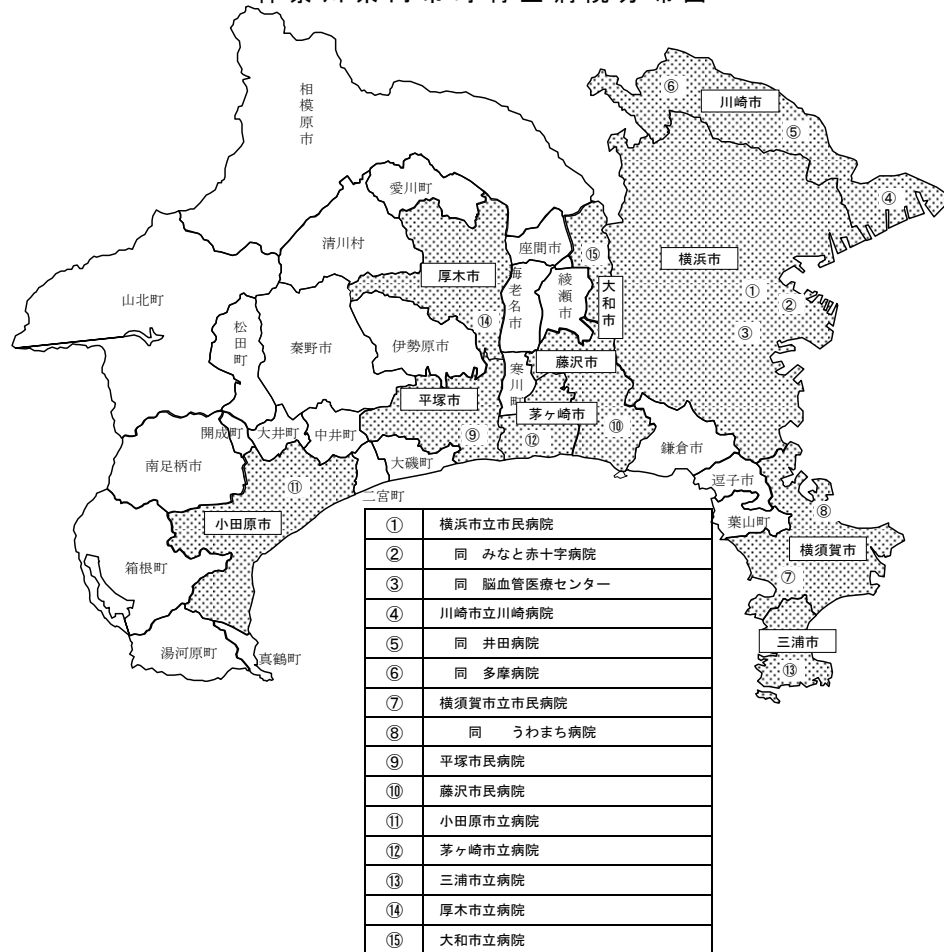


3 病院事業

(1) 事業概要

平成 21 年度における病院の事業数は 10 事業、病院数は 15 病院であり、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、三浦市、厚木市及び大和市の 10 市で設置している。

神奈川県内市町村立病院分布図



病床数は、6,700 床（うち一般病床 6,442 床）で、前年度（6,790 床）に比べ ▲90 床、▲1.3%の減少となっている。

病院当たりの病床数をみると、「101 床から 299 床」が 1 病院、大規模病院の基準である「300 床以上」が 14 病院で合計 6,564 床と、全体の 98.0%を占めている。

また、病床利用率（年延入院患者数／年延病床数×100）は 78.2%で、前年度（78.9%）に比べ▲0.7 ポイント下降した。

職員数は 6,104 人で、前年度（6,051 人）に比べ 53 人、0.9%の増加となっている。内訳は、医師 736 人（前年度 706 人）、看護師 3,759 人（同 3,700 人）、准看護師 47 人（同 55 人）、事務職員 413 人（同 410 人）、医療技術員 855 人（同 855 人）、その他の職員 294 人（同 325 人）となっている。

病床数・病床利用率・職員数の年度別推移

項目	年度	17	18	19	20	21	増減(21-20)	
							増減	率(%)
病床数(床)	一般	6,475	6,455	6,455	6,532	6,442	▲ 90	▲ 1.4
	その他	174	224	258	258	258	0	0.0
	計 (A)	6,649	6,679	6,713	6,790	6,700	▲ 90	▲ 1.3
病床利用率	一般	83.7%	81.9%	81.5%	80.1%	79.2%	▲ 0.9	—
	その他	37.4%	41.6%	44.3%	49.3%	51.3%	2.0	—
	計	82.4%	80.6%	80.1%	78.9%	78.2%	▲ 0.7	—
職員数(人) (B)		5,931	5,920	5,944	6,051	6,104	53	0.9
病床100床当りの職員数(B)/(A)×100(人)		89.2	88.6	88.5	89.1	91.1	2.0	—

一般病床は、精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床以外の病床。
その他の病床は、精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床の計。

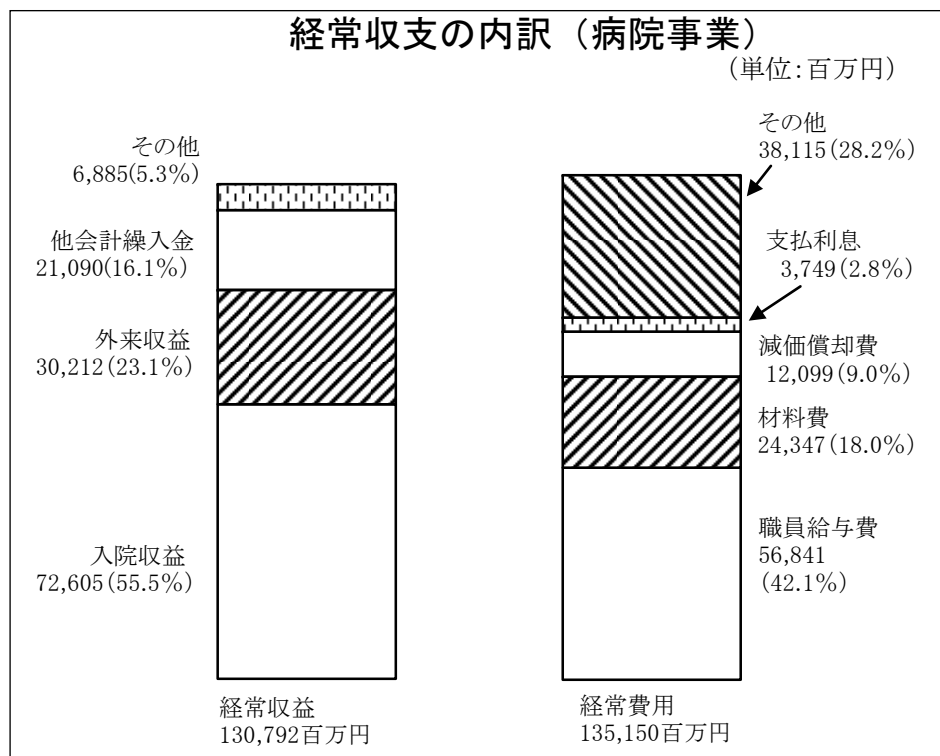
(2) 経営状況

ア 経常収支

経常収益は、1,307億92百万円で、前年度(1,376億55百万円)に比べ▲68億63百万円、▲5.0%減少し、経常費用は、1,351億50百万円で、前年度(1,447億57百万円)に比べ▲96億7百万円、▲6.6%減少している。

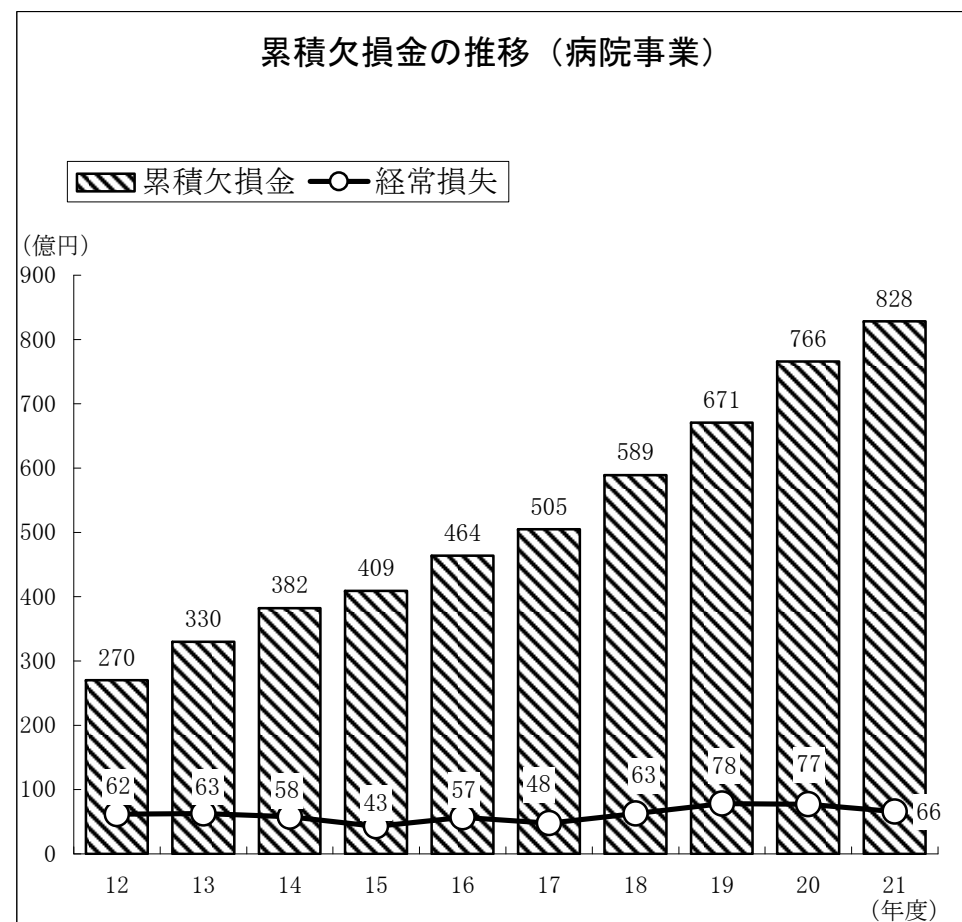
この結果、経常損益は▲43億58百万円の赤字で、前年度(▲71億3百万円)に比べ、赤字額が▲27億44百万円減少している。

なお、平成21年度に経常利益を生じた事業は3事業で、前年度に比べ2事業増加しており、経常損失を生じた事業は7事業で、前年度に比べて▲2事業減少している。



医業収支比率(医業収益/医業費用×100)は、87.9%で、前年度(87.2%)に比べ0.7ポイント上昇し、経常収支比率(経常収益/経常費用×100)は96.8%で、前年度(95.1%)に比べ1.7ポイント上昇している。

累積欠損金を有する事業は、10事業で、前年度(8事業)と比べて2事業増加している。



イ 資本収支

資本的支出は、177億35百万円で、前年度（169億83百万円）に比べ7億52百万円、4.4%増加（補償金免除繰上償還を除くと20億74百万円、13.7%と大幅に増加）している。

このうち建設改良費（資本勘定職員給与費を含む）は77億89百万円で、前年度（62億83百万円）に比べ15億6百万円、24.0%と大幅に増加しており、企業債償還金は98億39百万円で、前年度（100億25百万円）に比べ▲1億86百万円、▲1.9%減少している。

これに対する財源は、外部資金が114億61百万円で、前年度（102億36百万円）に比べ12億26百万円、12.0%の大幅な増加（補償金免除繰上償還に係る借換債を除くと30億2百万円、35.7%の大幅な増加）となっている。外部資金のうち企業債が66億16百万円で、前年度（68億28百万円）に比べ▲2億13百万円、▲3.1%減少しており、他会計繰入金が45億81百万円で、前年度（31億92百万円）に比べ13億89百万円、43.5%と大幅に増加している。一方、損益勘定留保資金等の内部資金は62億74百万円で、前年度（67億47百万円）に比べ▲4億74百万円、▲7.0%減少している。

(3) 診療収入

診療収入は1,028億17百万円で、前年度（1,099億34百万円）に比べ▲71億17百万円、▲6.5%減少している。うち入院収益は726億5百万円で、前年度（790億79百万円）に比べ▲64億74百万円、▲8.2%減少、外来収益は302億12百万円で、前年度（308億55百万円）に比べ▲6億43百万円減少している。

患者1人1日当たりの診療収入は、入院が37,714円で、前年度（40,865円）に比べ▲3,151円、▲7.7%減少、外来が8,935円で、前年度（9,311円）に比べ▲376円、▲4.0%減少している。

また、患者については、年延数では入院患者が1,925,160人で、前年度（1,935,137人）に比べ▲9,977人、▲0.5%減少しており、外来患者は3,381,344人で、前年度（3,313,965人）に比べ67,379人、2.0%増加している。

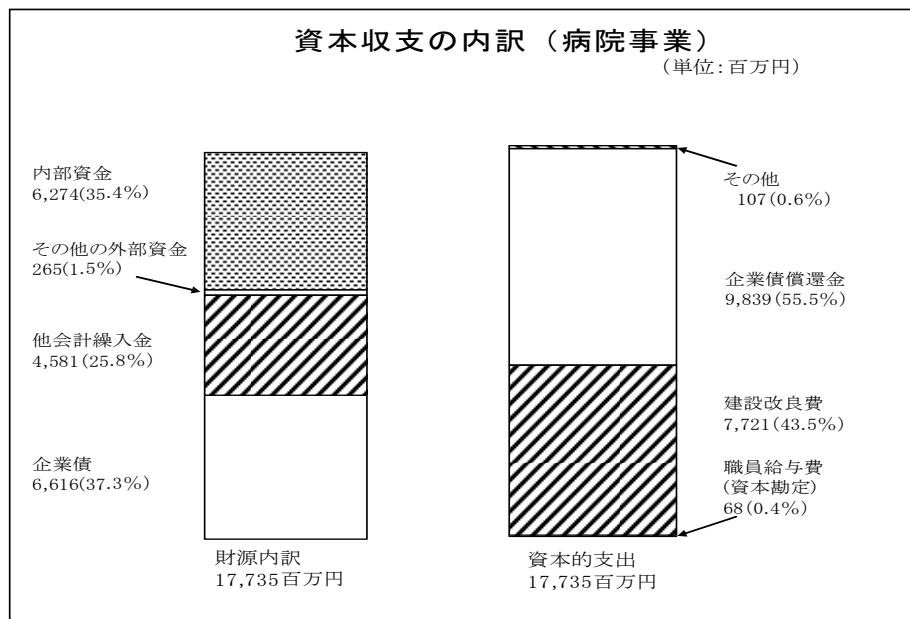
(4) 経費

職員給与費（収益勘定）は568億41百万円で、前年度（552億78百万円）に比べ15億62百万円、2.8%増加している。

また、診療収入に対する職員給与費の割合は、55.3%で前年度（50.3%）に比べ5.0ポイント上昇しており、医業費用に対する職員給与費の割合は44.1%で、前年度（40.1%）に比べ4.0ポイント上昇している。

薬品等の材料費は、243億47百万円で、前年度（238億85百万円）に比べ4億63百万円、1.9%増加している。このうち薬品費は115億77百万円で、前年度（112億48百万円）に比べ3億29百万円、2.9%増加している。

また、薬品使用効率（薬品収入／薬品費×100）は89.9%で、前年度（98.9%）に比べ▲9.0ポイント下降している。



損益収支等の推移

(単位:百万円)

項目		年度					増減(21-20)			
		17	18	19	20	21		率(%)		
総収益(A)		129,579	138,153	142,613	138,088	133,775	▲ 4,313	▲ 3.1		
経常収益	医業収益	診療収入	入院	72,352	79,077	82,552	79,079	72,605	▲ 6,474	▲ 8.2
			外来	31,516	32,911	32,916	30,855	30,212	▲ 643	▲ 2.1
			計	103,868	111,988	115,468	109,934	102,817	▲ 7,117	▲ 6.5
		(うち薬品収入)	15,479	14,744	14,788	11,123	10,412	▲ 711	▲ 6.4	
		その他	9,071	9,155	9,851	10,198	10,475	277	2.7	
	計(B)	112,939	121,143	125,318	120,132	113,292	▲ 6,840	▲ 5.7		
	医業外収益	他会計補助金	3,310	3,324	2,976	3,173	3,964	791	24.9	
		他会計負担金	11,043	11,086	10,916	10,875	10,760	▲ 115	▲ 1.1	
		その他	2,109	2,285	3,094	3,475	2,776	▲ 699	▲ 20.1	
		計(C)	129,401	137,837	142,304	137,655	130,792	▲ 6,863	▲ 5.0	
総費用(D)		134,085	147,098	151,215	147,925	140,211	▲ 7,713	▲ 5.2		
経常費用	医業費用	職員給与費	53,601	52,896	54,686	55,278	56,841	1,562	2.8	
		材料費	24,730	24,349	25,026	23,885	24,347	463	1.9	
		(うち薬品費)	12,883	12,849	12,674	11,248	11,577	329	2.9	
		その他	48,709	59,376	62,986	58,537	47,705	▲ 10,833	▲ 18.5	
	計(E)	127,040	136,621	142,698	137,700	128,892	▲ 8,808	▲ 6.4		
	医業外費用	6,549	7,136	7,427	7,057	6,258	▲ 799	▲ 11.3		
計(F)		133,588	143,757	150,125	144,757	135,150	▲ 9,607	▲ 6.6		
患者1人1日当たり診療収入(円)										
		入院	38,115	40,364	41,979	40,865	37,714	▲ 3,151	▲ 7.7	
		外来	9,000	9,211	9,626	9,311	8,935	▲ 376	▲ 4.0	
患者数(人)	入院	年延数(G)	1,898,283	1,959,080	1,966,492	1,935,137	1,925,160	▲ 9,977	▲ 0.5	
		1日平均	5,334	5,367	5,374	5,302	5,274	▲ 27	▲ 0.5	
	外来	年延数(H)	3,501,872	3,573,077	3,419,503	3,313,965	3,381,344	67,379	2.0	
		1日平均	14,114	14,084	13,625	13,424	13,782	359	2.7	
外来患者入院患者比率(H)/(G)			184.5%	182.4%	173.9%	171.3%	175.6%	4.4	-	
総収支比率(A)/(D)			96.6%	93.9%	94.3%	93.4%	95.4%	2.1	-	
経常収支比率(C)/(F)			96.9%	95.9%	94.8%	95.1%	96.8%	1.7	-	
医業収支比率(B)/(E)			88.9%	88.7%	87.8%	87.2%	87.9%	0.7	-	
職員給与費/診療収入			51.6%	47.2%	47.4%	50.3%	55.3%	5.0	-	
職員給与費/医業費用			42.2%	38.7%	38.3%	40.1%	44.1%	4.0	-	
薬品使用効率			120.1%	114.7%	116.7%	98.9%	89.9%	▲ 9.0	-	

(5) 他会計繰入金の状況

他会計繰入金は、260億9百万円で、前年度(233億26百万円)に比べ26億83百万円、11.5%増加している。

内訳は、収益的収入への繰入金は214億28百万円で、前年度(201億34百万円)に比べ12億94百万円、6.4%増加しており、資本的収入への繰入金は45億81百万円で、前年度(31億92百万円)に比べ13億89百万円、43.5%と大幅に増加している。

また、基準外繰入金については、収益的収入への繰入金が26億72百万円(収益的収入への繰入金総額の12.5%)で、資本的収入への繰入金が38百万円(資本的収支への繰入金総額の0.8%)で、基準外繰入金の総額が27億10百万円(繰入金総額の10.4%)となっている。

他会計繰入金の状況

(単位:百万円, %)

項目		年度		増減	
		21	20	額	率
収益	基準内	18,756	18,029	726	4.0
	基準外	2,672	2,104	568	27.0
	計	21,428	20,134	1,294	6.4
資本	基準内	4,542	3,192	1,350	42.3
	基準外	38	0	38	皆増
	計	4,581	3,192	1,389	43.5
合計	基準内	23,298	21,221	2,077	9.8
	基準外	2,710	2,104	606	28.8
	計	26,009	23,326	2,683	11.5